

## 剣道昇段審査会（初段～五段）

平成22年11月3日、長崎県警武道場において剣道昇段審査会（初段～五段）が開催され、82名（初段24名、二段16名、三段17名、四段14名、五段11名）が受審しました。

以下に合格者の喜びの声をご紹介します。主に各段ごとの最年長者（最も大きい番号の名札）に声をおかけし感想レポートをお願いしたものです。



実技審査



剣道形審査

### ◆初段合格◆

【日本人としてのアイデンティティー】

山本 太郎（長崎大学熱帯医学研究所）

過去15年間、世界中を回った。アフリカ、アメリカ、今年1月に大きな地震のあったハイチといった国では暮らしてもいた。さまざまな文化を持つ人々に囲まれて。

そうした暮らしを送るなかで、感じたことの一つに「自分は何者か」といった疑問があった。日本人としてのアイデンティティーといっても良いかもしれない。

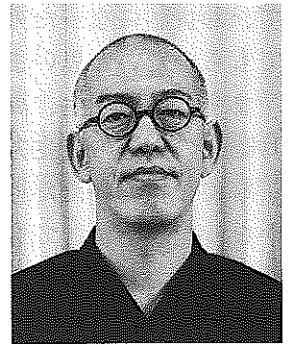
何か日本的なものに触れたいと思った。お茶でも、歌舞伎でもよかった。私の場合、それが剣道だった。

日本に帰国して4年、外務省での外交官としての仕事を辞し大学に移って1年、ようやく自分の時間が持てるようになった。外務省時代は、終電ご帰宅も不思議のない生活だった。

日本的なものを探し始めた時、出会ったのが剣道だった。学ぶ場所はまさにそこにあった。大学の中だ。それから約2年、この度、11月の昇段試験で「初段」をいただいた。ありがたいことだった。

11月15日、皇居で天皇皇后両陛下に拝謁する栄に浴した。それまでに初段をと密かに考えていた。間に合ってよかった。

〈広報委員：谷口〉 蛇足ながら。文中の皇居の件は、世界各地の大地震等の被災地に医療や救助のため派遣された国際緊急援助隊員130人が皇居に招かれたものです。（西日本新

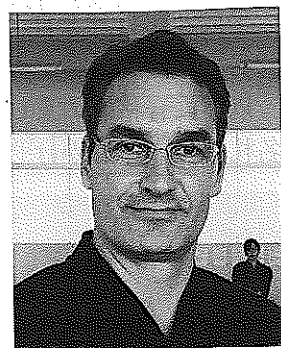


聞 HP より)。頭が下がります。ご苦労さまでございました。

### ◆二段合格◆

ポートマン・ブルーノ (スイス)

《広報委員：谷口》 ポートマンさんは、日本人の奥様と来日し審査を受けられました。剣道や居合を学ぶ外国人は、礼儀作法から非常に真面目に取り組む方が多いものですが、ポートマンさんも例に漏れず礼儀正しく、真摯な取り組み姿勢が随所に見受けられました。剣道形も立派でした。翌日は帰国されるということで、合格記は後日メールで送付いただくことになっていましたが、お忙しかったんでしょ、今回の締切には間に合いませんでした。



### ◆三段合格◆

#### 【合格体験記】

高橋 慧 (長崎大学医学部)

今回運良く、参段に合格させていただきました。合格にあたって、お世話になった方々への感謝の辞をこの場を借りて述べさせてもらいたいと思います。

まず、山崎先生、萬木先生、田崎先生をはじめとする、日曜会、月曜会の剣道の先生方。一人でふらっと現れる、身元不詳な私に丁寧にご指導いただきありがとうございます。先生方の理合にかなった説明はとてもわかりやすかったです。特に山崎先生から、教えていただいた切り返しについての説明は剣道を初めて以来の私の疑問に対する明確な答えでした。

次に、石橋先生、宮崎先生、廣瀬先生、居合道の先生方。先生方に教えて頂いた居合を通して剣道も変えることもできました。具体的には、物打ちで正確に打突できるようになったこと、姿勢の変化、剣道型におけるお相手への意識などです。どれも、剣道だけを行っていたのでは私の場合は身につかなかったのではないかと思います。

最後に、大学の部活の後輩達、職場の上司の皆さん。私は少し特殊な職場で働いているため、試験前日から当日の午前5時まで働き続けていました。仕事は終わっていなかったのですが、職場の上司の好意により、早めに上がらせてもらえ、なんとか受験することができました。

また、受験票の提出等事務手続きを一手に引き受けてくれた有森君、不規則な生活の私の練習に付き合ってくれた、新見君、吉野君、君達がいなければ受験自体が不可能だったと思っています。本当にありがとう。

以上が私の合格体験記です。受かった瞬間に湧き上がった気持ちが上記の方々への感謝

